

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	経理課(庁舎管理部分・防災センター含む)		
事業所番号	A 0 9 3 1 - 0 0 3 7		
事業所等の所在地	〒 1 4 0 - 8 7 1 5 区市町村名	東京都品川区	
事業所等の延床面積	35,538.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	1,040	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	2,019	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	13	t
	総計(④=②+③)	④	2,032	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=(⑧/1,000)×⑨
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	196,682.3	45.00	8,850.7	0.014	441.4
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	3,226,299.0	9.76	31,488.7	0.489	1,577.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計						⑭ 40,339.4		⑮ 2,019.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	19,016.0			0.251	4.8
	公共下水道	☐	m ³	19,016.0			0.439	8.3
合 計								⑯ 13.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E110	高効率モータの導入(空調用)
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E112	空調用高効率冷凍機の採用
				E113	高効率ボイラの採用(空調用)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

選択欄超過:B107,B108,C123,C124,C117,E125

1. ノー残業デーの設定(毎週水曜日)
2. 照明のLED化
3. 執務室内の空調機の設定温度の適正化
4. 給排気ファンの間欠運転の実施等

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合区民会館(きゅりあん)		
事業所番号	A 0 9 3 1 - 0 0 0 6		
事業所等の所在地	〒 1 4 0 - 0 0 1 1 区市町村名	東京都品川区	
事業所等の延床面積	17,110.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	9 5 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		520	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	1,010	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	5	t
	総計(④=②+③)	1,015	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	59.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	96,829.8	45.00	4,357.3	0.014	217.3	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,621,237.0	9.76	15,823.3	0.489	792.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	20,180.6	⑭	1,010.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,483.0			0.251	1.9	
	公共下水道		☐	m ³	7,483.0			0.439	3.3	
合 計									⑮	5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人体センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択欄超過:A208,210,211,212,213,214,215

C120,127,121,128,130

E107,108,109,127,110,111,112,113,129,130,120,122,133,135,136,137,138,139

①照明灯の間引き。

②雨水を雨水槽に溜め、中水として使用。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	検査室		
事業所番号	A	0 9 3 1	- 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒	1 4 0 -	0 0 0 1 区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	2,839.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	7 1 1 4	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	52	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	102	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	35.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
									排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス			☐	Nm ³	8,154.7	45.00	367.0	0.014	18.3	
	その他()			☐		0.0					
	その他()			☐		0.0					
	その他()			☐		0.0					
	その他()			☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	172,715.0	9.76	1,685.7	0.489	84.5		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}					kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計								⑬	2,052.7	⑭	102.8
そ の 他	水道及び工業用水道			☐	m ³	1,431.0			0.251	0.4	
	公共下水道			☐	m ³	1,431.0			0.439	0.6	
合 計										⑮	1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較	B106 B107	過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101 C106 C109 C114	空室・不在時等のこまめな消灯 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 空室・不在時等の空調停止 事務用機器を省エネモードに設定	C105 C108 C117 C129	昼休み時の消灯の実施 温度計等による室温の把握と調整 便座ヒーター等温度の季節別設定 季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検	D105 D108	換気フィルターの清掃・点検 その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E105 E122 E133	照明用人感センサの採用 給湯の温水配管の保温の実施 節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ①照明の間引き
 ②冷蔵・冷凍機器の使用台数減
 ③待機電力の削減
 ④省エネのため毎週水曜日をノー残業デーに設定し、一斉退庁

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大井第一地域センター		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 0 3
事業所等の所在地	〒 1 4 0 — 0 0 1 3	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	2,288.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	49	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	95	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	41.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨)×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	10,888.1	45.00	490.0	0.014	24.4	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	146,184.0	9.76	1,426.8	0.489	71.5	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	⑫
合 計							⑬	1,916.7	⑬	95.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,344.4			0.251	0.3	
	公共下水道		☐	m ³	1,344.4			0.439	0.6	
合 計									⑭	0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大井第二地域センター・区民集会所		
事業所番号	A 0 9 3 1 - 0 0 0 4		
事業所等の所在地	〒 1 4 0 - 0 0 1 4	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	1,484.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	69	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	46.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	14,730.9	45.00	662.9	0.014	33.1	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	73,599.0	9.76	718.3	0.489	36.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計							⑫	1,381.2	⑫	69.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	529.0			0.251	0.1	
	公共下水道		☐	m ³	529.0			0.439	0.2	
合 計									⑬	0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策			C131	出入口等の開口部付近の空調停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人体感センサの採用
				E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択欄超過:A213
C115,116,126,117,118,120,127,129
E108,109,130

節電対策では ①屋内の蛍光灯を間引きするなど照明を削減。②クールビズの推進。③用紙の裏面利用を行うことにより、紙の使用量削減。④職員によるエレベーター利用の自粛および利用者への呼び掛け。⑤OA機器等の未使用時に電源を切る。⑥節水対策として水力充電式の自動水洗を導入し効果が出ている。⑦さらに節電のため全館のトイレを自動照明にしている。

今後もエネルギー使用量の経年比較を利用してモニタリングを行い、年間を通じ節電対策等の継続、徹底を図る。効率的なエネルギー使用について、職員や利用者、大井保健センターに啓発し、使用量削減に努める。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	二葉すこやか園(二葉つばみ保育園・二葉幼稚園)		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 6 5
事業所等の所在地	〒 1 4 2 - 0 0 4 3	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	2,826.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	48	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	93	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	96	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	32.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	7,060.4	45.00	317.7	0.014	15.8
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌18時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	158,504.0	9.76	1,547.0	0.489	77.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計						1,864.7		93.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,543.0			0.251	1.1
	公共下水道	☐	m ³	4,543.0			0.439	2.0
合 計								3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備導入対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・ジェットタオル使用中止
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	八潮地域センター・区民集会所		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 0 5
事業所等の所在地	〒 1 4 0 -	0 0 0 3	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	4,571.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		102	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	198	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	1	t
	総計(④=②+③)	199	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	43.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	444.7	45.00	20.0	0.014	1.0
	その他(温水)		☐	MJ	23,479.9	1.36	31.9	0.060	1.4
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	400,000.8	9.76	3,904.0	0.489	195.6
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑫	3,956.0	⑫	198.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,882.0			0.251	0.5
	公共下水道		☐	m ³	1,882.0			0.439	0.8
合 計								⑬	1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

①省エネのため、毎週月曜日をノー残業デーとして一斉退社を実施している。

②職員によるエレベーター利用の自粛。

③各集会室の照明スイッチ付近にチラシを張り、利用者へ節電の協力を求めている。

④日中はセンターロビーの蛍光灯を一部消灯し、節電に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	武蔵小山創業支援センター									
事業所番号	A	0	9	3	1	—	0	0	5	7
事業所等の所在地	〒	1	4	2	—	0	0	6	2	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	838.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	2	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	0	t
	総計(④=②+③)	59	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	70.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	121,340.0	9.76	1,184.3	0.489	59.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計						⑭ 1,184.3		⑮ 59.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	295.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	295.0			0.439	0.1
合 計								⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ エネルギー 対策	運用対策	C101 C109 C114	空室・不在時等のこまめな消灯 空室・不在時等の空調停止 事務用機器を省エネモードに設定	C107 C113 C123 C115	空調機スイッチに空調範囲を表示 中間期における外気冷房の実施 温湿度の適正管理 事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	商業・ものづくり課(中小企業センター)		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 4 1 - 0 0 3 3	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	7,626.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		180	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	350	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	t
	総計(④=②+③)	353	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	45.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	12,988.9	45.00	584.5	0.014	29.1		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	656,554.0	9.76	6,408.0	0.489	321.1		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑭	0.0	9.76	⑮	0.0	0.489	⑯
合 計							⑮	6,992.5		⑯	350.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,747.0			0.251	1.4		
	公共下水道		☐	m ³	5,747.0			0.439	2.5		
合 計									⑯		4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A216	所内会議・研修会等で報告
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E139	進相コンデンサ等による力率改善
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

①昼休憩時の消灯
 ②照明灯の間引き
 ③冷暖房機の効率的な運転および使用制限(一部間引き)
 ④空室、不在時の空調停止
 ⑤省エネのため毎週月曜日および給料日をノー残業デーとし一斉退庁

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川産業支援交流施設						
事業所番号	A	0	9	3	1	—	0 0 7 5
事業所等の所在地	〒	1	4	1	—	0 0 0 1	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	2,875.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有						
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)						
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他						
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	2	9	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当	
前年度の報告内容からの変更点							

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	94	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	184	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	186	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	64.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	376,347.0	9.76	3,673.1	0.489	184.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪	9.76	⑫	0.0	0.489	⑬
合 計						⑭	3,673.1		⑮	184.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,494.0			0.251	0.9	
	公共下水道		☐	m ³	3,494.0			0.439	1.5	
合 計									⑯	2.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑧}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101 C109 C114	空室・不在時等のこまめな消灯 空室・不在時等の空調停止 事務用機器を省エネモードに設定	C107 C113 C123 C115	空調機スイッチに空調範囲を表示 中間期における外気冷房の実施 温湿度の適正管理 事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103 E114	高効率照明器具の採用(屋内) 高効率パッケージの採用	E105 E109 E130	照明用人感センサの採用 空調の冷温水配管の保温の実施 全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区民活動交流施設(こみゅにていふらざ八潮)		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 5 5
事業所等の所在地	〒 1 4 0 - 0 0 0 3	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	7,260.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	9 5 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	156	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	302	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	305	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	41.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ①	係数 ②	熱量 (GJ) ③=(①/1000)×②	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ④	排出量 ^{※1} (t) ⑤=④×①×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	69,168.0	45.00	3,112.6	0.014	155.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	301,760.0	9.76	2,945.2	0.489	147.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑥	9.76	⑦	0.489	⑧
合 計						⑧	6,057.7	⑨
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,735.0			0.251	1.2
	公共下水道	☐	m ³	4,735.0			0.439	2.1
合 計								⑩

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B104	設備ごとに詳細に把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択欄超過:E135
 照明等の間引き、冷房機の使用制限。
 使用していない部屋の出入口を開き、冷・暖気を廊下に還流。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	五反田文化センター		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 4 3
事業所等の所在地	〒 1 4 1 - 0 0 3 1	区市町村名	東京都品川区
	町名番地下	西五反田6-5-1	
事業所等の延床面積	5,926.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	195	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	378	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	382	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	63.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ①	係数 ②	熱量 (GJ) ⑧=(①/1000)×②	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ③	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(③×⑧×44/12)			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	14,078.4	45.00	633.5	0.014	31.6			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電気	一般送配電事業者 の電線を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	710,200.3	9.76	6,931.6	0.489	347.3			
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	0.489	⑬
合 計							⑭	7,565.1		⑮	378.9	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,611.0				0.251	1.7		
	公共下水道		☐	m ³	6,611.0				0.439	2.9		
合 計										⑯	4.6	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{③} / 1,000) \times \text{⑧}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑧とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用入感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

選択欄超過:B108
E109,111,130
・エントランス、通路等の照明の間引き